役割書 ― 大道具係

概要・責任範囲

大道具係は**セット・背景パネル・デロリアン張りぼての制作、および本番中の場面転換**をすべて担当する。本作は場面転換の回数が多く（1985年⇄1955年を複数回往復）、暗転中の搬入・搬出のスピードが上演時間を左右する。

必要人数・役割分担

人数	役割
1〜2人目	セット製作リーダー・進行管理
2〜3人目	製作作業・場面転換の実働

目安：3〜4人体制（役者の兼務も活用する。下記「役者との連携」参照）

制作物リスト

セット

品目	説明	使用ACT
デロリアン張りぼて	段ボール・ベニヤ板製の車体シルエット。ガルウィングドア（蝶番付き段ボール）、フラックスキャパシタ用LEDテープ（Y字型）内蔵、下部にキャスター4輪	ACT1・ACT6
時計塔背景パネル	時計の絵＋落雷演出用の白色反射素材（アルミホイル等でも可）	ACT1・ACT6

品目	説明	使用ACT
実験室セット（1985年版・1955年版）	机・機械パネル。1955年版は道具を古めかしく差し替え	ACT1・ACT3
干し草・柵パネル	1955年の農場を示す簡素な小道具的セット	ACT2
ベインズ家セット	簡易ベッド・椅子	ACT2
街並みパネル（1955年）	レトロな街並みのイラスト	ACT2〜4
カフェセット	カウンター・椅子	ACT4
ダンスパーティ装飾	「Enchantment Under the Sea」看板・星形の切り紙・青系の布	ACT5
マクフライ家セット（1985年）	食卓・椅子	ACT1・ACT6

教室装飾（当日）

場所	内容
教室入口	演目名看板「Back to the Future」（デロリアンのイラスト付き）・タイムサーキット風デコレーション
教室外（廊下）	ダンスパーティ風の星・海モチーフの飾り付け、1955年の街並みイラスト

本番の場面転換フロー

暗転のたびに以下を目安に搬入・搬出を行う（詳細タイムラインは`役割書_舞台監督.md`参照）。

#	転換内容	目安秒数
1	マクフライ家→ドクの実験室（1985）	約15秒
2	実験室→時計塔広場（デロリアン搬入）	約15秒

#	転換内容	目安秒数
3	時計塔広場→農場（デロリアン退場・干し草搬入）	約20秒
4	農場→ベインズ家	約15秒
5	ベインズ家→ドクの家（1955）	約15秒
6	街角→カフェ	約15秒
7	カフェ→ダンスパーティ会場（大規模装飾）	約25秒
8	ダンスパーティ会場→時計塔広場（デロリアン再搬入）	約20秒
9	時計塔広場→マクフライ家（1985、デロリアン退場）	約20秒

デロリアンの搬入・搬出はキャスター＋役者2〜3名での押し引きを基本とする。台車の可動域・段差の有無をゲネプロで必ず確認すること。

準備スケジュール（目安）

期間	内容	目標
配役決定後〜2週間	デロリアン張りぼての設計・材料調達	サイズ・搬入経路の確定
〜1ヶ月	各セットパネルの製作着手	主要セット（デロリアン・時計塔）完成
〜1ヶ月半	全セット完成、場面転換の通し練習	転換秒数を目安内に収める
直前1週間	最終調整・破損チェック	本番同様の流れで通し

役者との連携

出番のないシーンでは、役者も大道具の場面転換を手伝う。

役者	手伝えるタイミング
マーティの家族	ACT2〜6（出番なし）
ジョージ・ロレイン（1985）	ACT2〜5（出番なし）

役者	手伝えるタイミング
タウンズピープル	自分の出番以外の全転換

デロリアン搬入・搬出のリハーサル確認事項

デロリアンの搬入・搬出は本作最大の大道具作業。ゲネプロで「搬入完了までの秒数」を計測し、目安（15〜20秒）を超える場合は、押し引きを行う人数を増やすか、キャスターの可動性を見直すこと。

リハーサルで確認すること

- [ ] 各場面転換の搬入・搬出が目安秒数内に収まっているか
- [ ] デロリアンのキャスターがスムーズに動くか（段差・カーペット等の障害物確認）
- [ ] フラックスキャパシタ用LEDテープの配線が搬入・搬出のたびに断線していないか
- [ ] ダンスパーティ装飾の設営・撤去を担当する人数配置が決まっているか